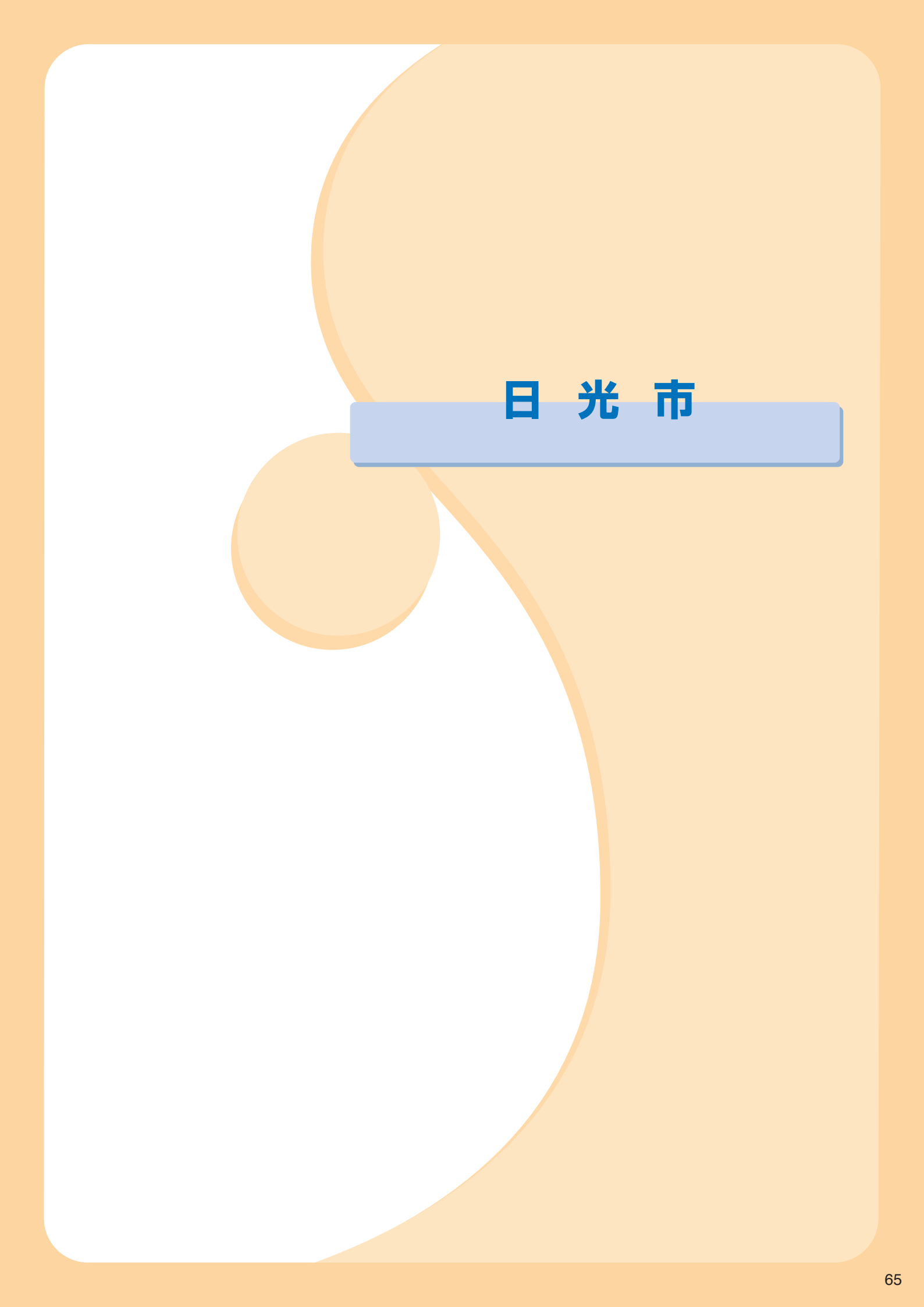
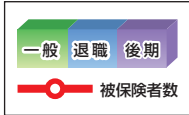


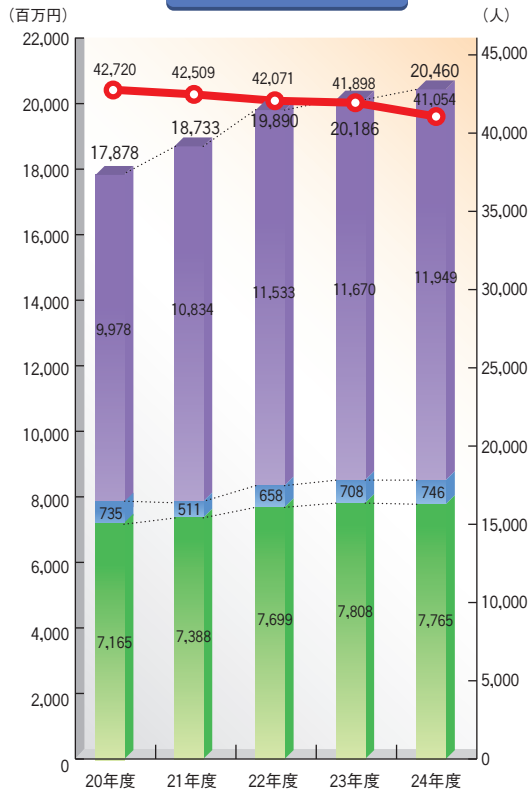


日光市

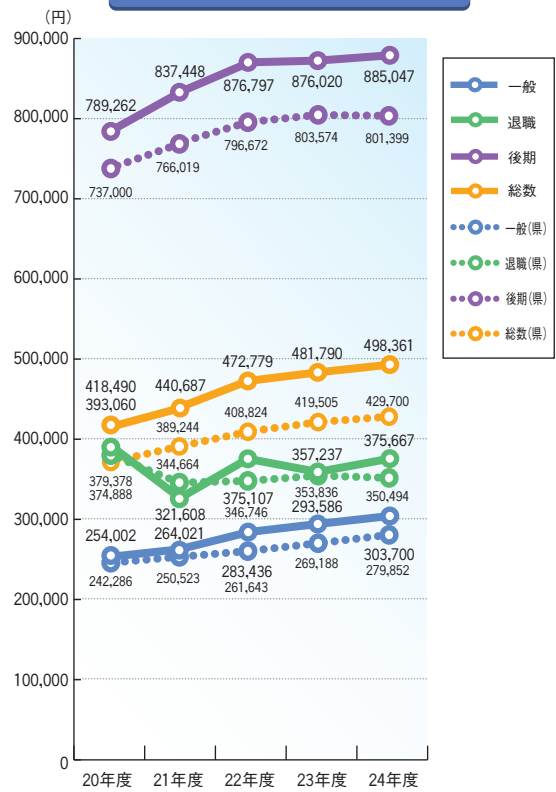
日光市



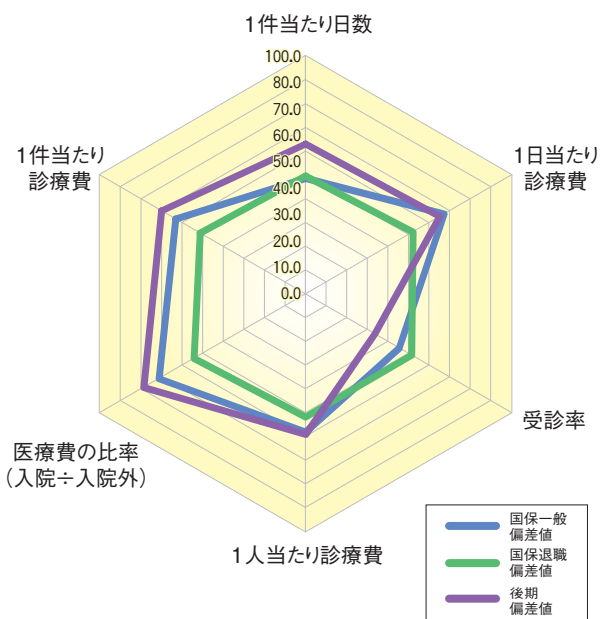
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

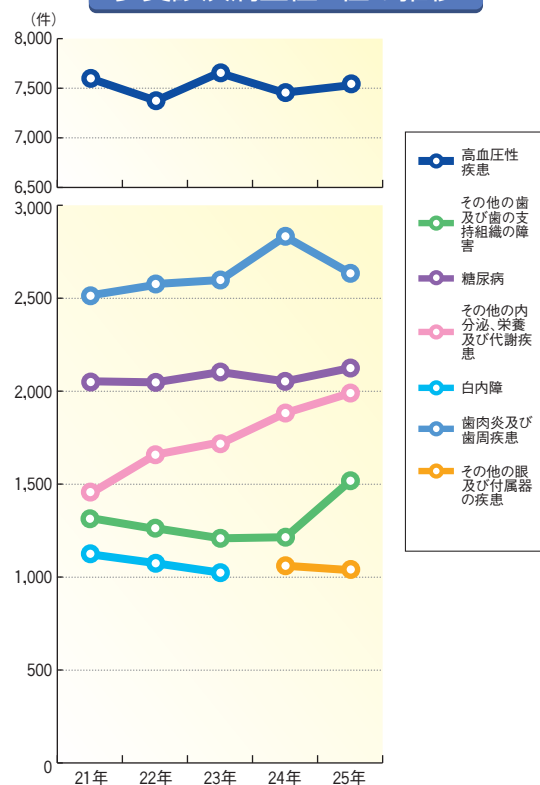


平成24年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

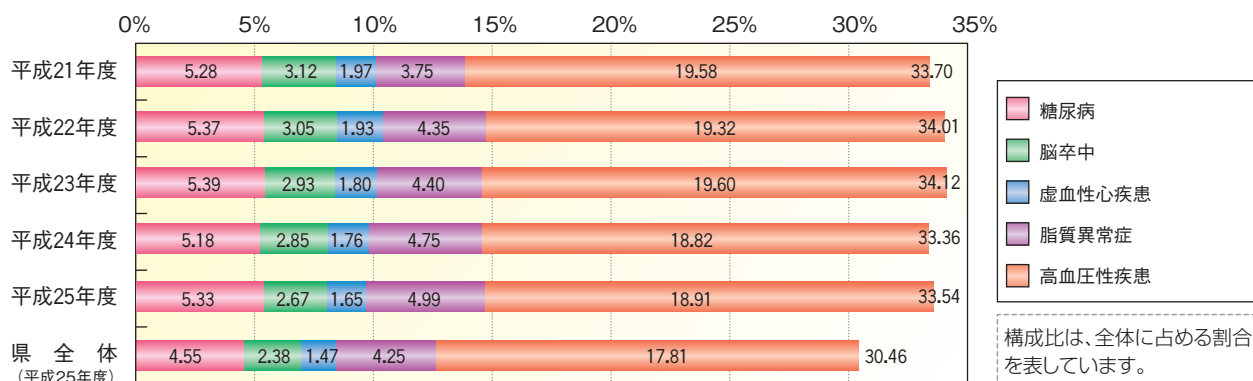


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

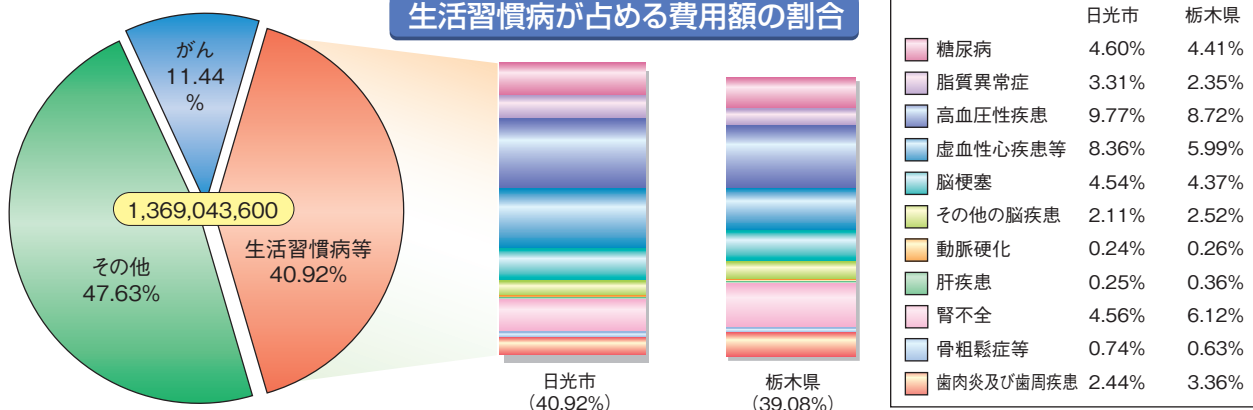
多受診疾病上位6位の推移



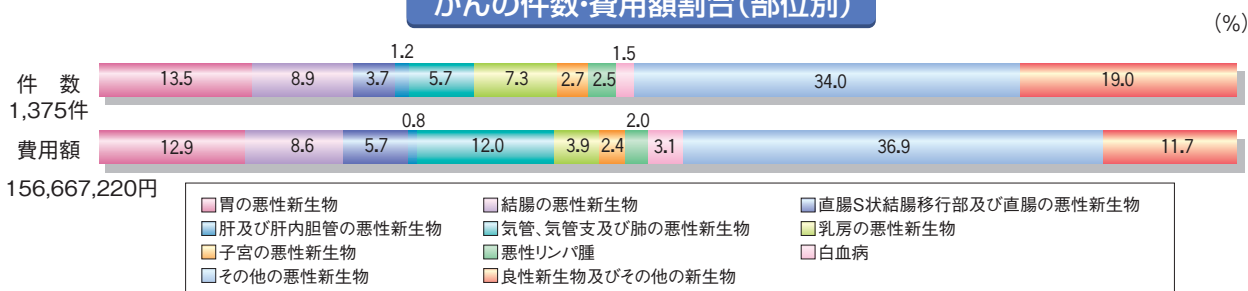
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



日光市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成24年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般7,765,007(99.5%)、退職745,698千円(105.3%)、後期11,949,017千円(102.4%)で、全体では20,459,723千円(101.4%)と増加している。

平成24年度平均被保険者数は41,054人で、内訳は一般25,568人、退職1,985人、後期13,501人である。前年度と比較すると全体で98.0%と減少している。

また、平成24年度1人当たり医療費の推移をみると、総数は498,361円(16,571円増)、一般は303,700円(10,114円増)、退職は375,667円(18,430円増)、後期は885,047円(9,027円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1日当たり診療費、1人当たり診療費、医療費の比率、1件当たり診療費はいずれの法別も県の値を上回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成25年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位その他の歯及び歯の支持組織の障害、6位その他の眼及び付属器の疾患で、中でも4位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患は、平成21年と比較して、件数が1.4倍、費用額が1.5倍の伸びとなっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ、5疾病全て高い構成比になっている。

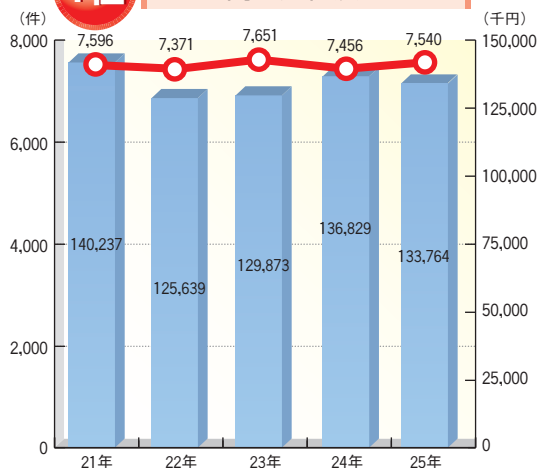
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成25年5月診療分の総費用額が1,369,043,600円で、がんが11.44%、生活習慣病関連が40.92%を占めている(県全体 がん11.56%、生活習慣病関連39.08%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.77%、虚血性心疾患等8.36%、糖尿病4.60%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数・費用額共に、胃の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

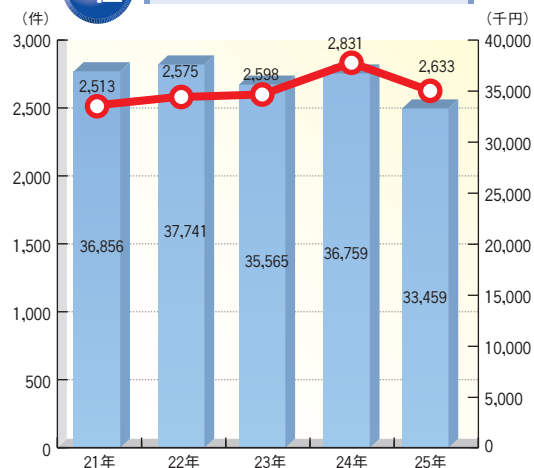
1位

高血圧性疾患



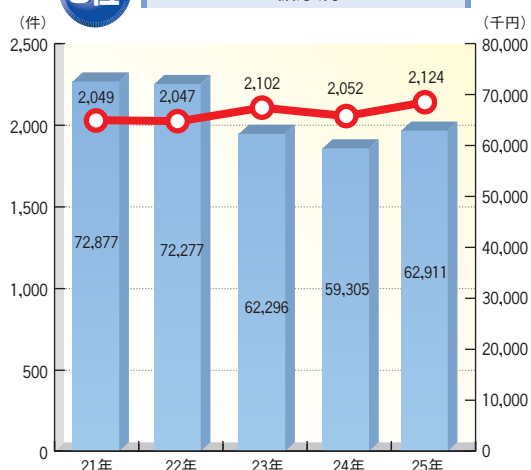
2位

歯肉炎及び歯周疾患



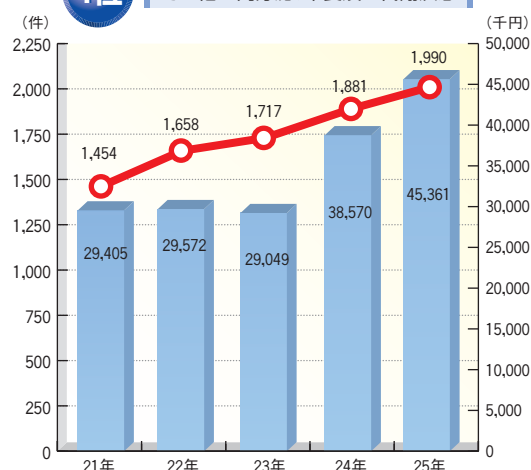
3位

糖尿病



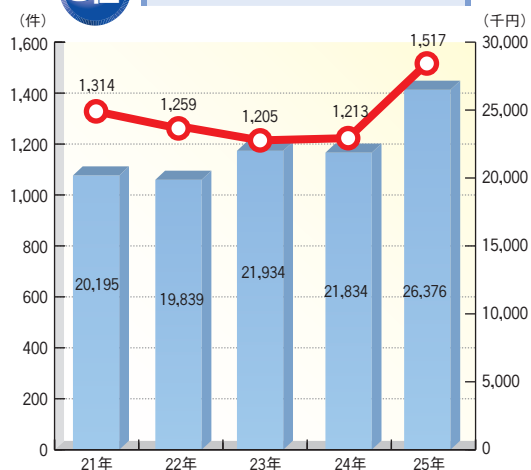
4位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位

その他の歯及び歯の支持組織の障害



6位

その他の眼及び付属器の疾患

